

## 2 衛生施設

### (1) 施設の配置状況

本市の衛生施設としては、火葬場が5か所、衛生処理場が5か所、ごみ処理場が6か所配置されています。

衛生処理場のうち、神集島、高島、唐津南部の3か所、ごみ処理場のうち、神集島、高島、ペットボトルセンターの3か所は、用途廃止されています。

#### 【衛生施設の配置状況（位置図）】



## (2) 施設毎の状況と課題

火葬場は、いずれも新耐震基準で建設されており、最も古い施設が呼子町霊葬場で29年が経過しています。最も新しい施設が大平山斎苑で16年が経過しています。

稼働中の衛生処理場は、新耐震基準で建設された中部衛生処理センターと北部衛生処理センターがあり、建築後23年と9年が経過しています。

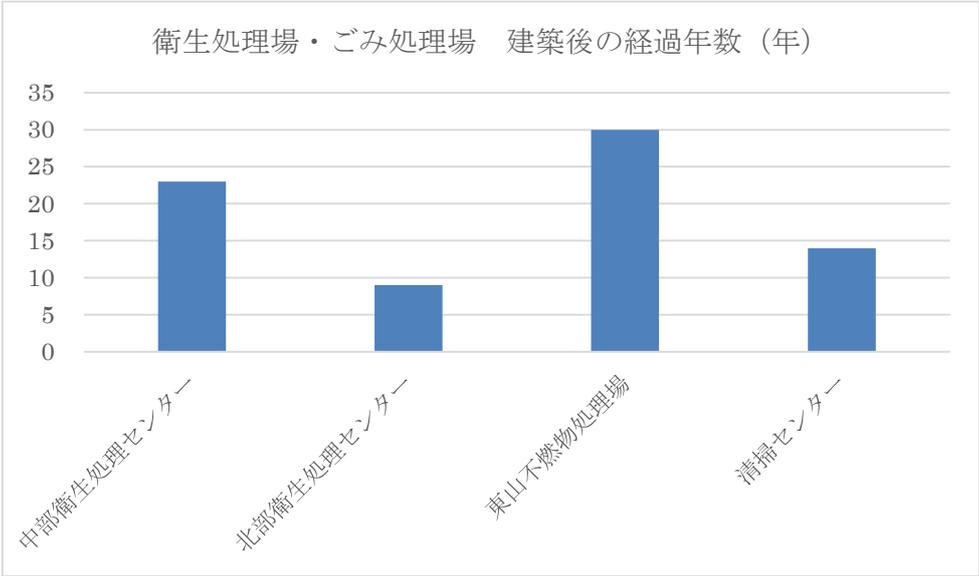
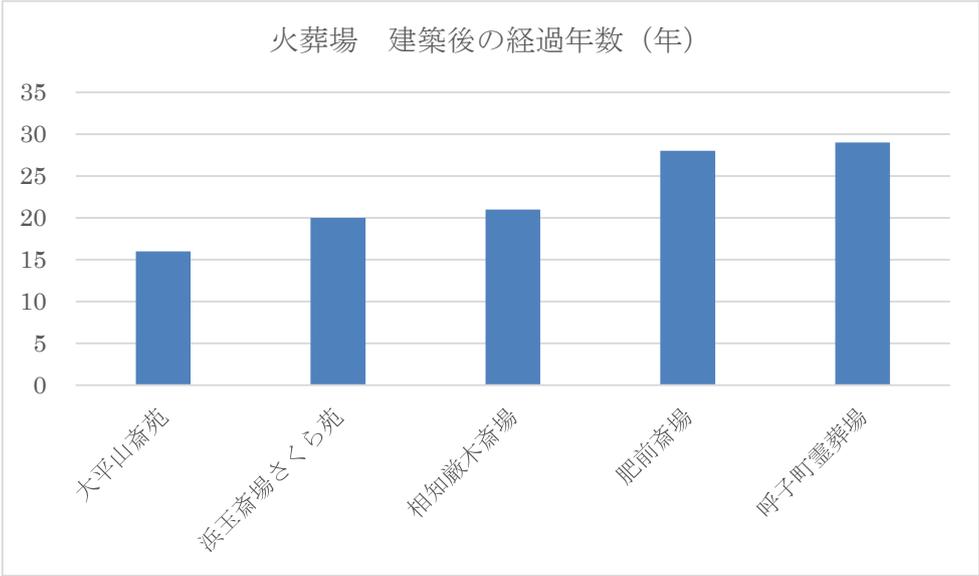
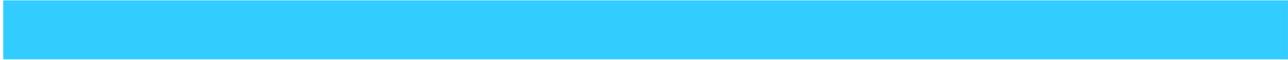
稼働中のゴミ処理場は、新耐震基準で建設された大平山斎苑動物死体処理場及び清掃センターのほか、東山不燃物処理場があり、建築後30～16年が経過しています。

### 【施設毎の建築物の状況】

番号	施設区分	施設の名称	主体構造	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐震 区分	施設 評価
1	火葬場	大平山斎苑	鉄筋コンクリート造	2	2,377	1999	○	○
2	火葬場	浜玉斎場さくら苑	鉄筋コンクリート造	2	977	1995	○	○
3	火葬場	相知巖木斎場	鉄筋コンクリート造	1	695	1994	○	○
4	火葬場	肥前斎場	鉄筋コンクリート造	1	794	1987	○	○
5	火葬場	呼子町霊葬場	鉄筋コンクリート造	2	551	1986	○	○
6	衛生処理場	唐津中部衛生処理センター	鉄筋コンクリート造	1	2,139	1992	○	○
7	衛生処理場	唐津北部衛生処理センター	鉄筋コンクリート造	3	3,874	2006	○	○
8	ごみ処理場	東山不燃物処理場	プレハブ造	1	11	1985	○	○
9	ごみ処理場	唐津市清掃センター	鉄骨造	7	7151	1996	○	○
	衛生処理場	唐津南部衛生処理センター (平成25年度末稼働停止)	鉄筋コンクリート造	3	1,144	1985		×
	衛生処理場	神集島衛生処理場 (平成14年度末稼働停止)						×
	衛生処理場	高島衛生処理場 (平成9年度末稼働停止)	鉄筋コンクリート造	1	125	1979		×
	ごみ処理場	高島ごみ焼却場 (平成13年度末用途廃止)						×
	ごみ処理場	神集島焼却場 (平成13年度末用途廃止)						×
	ごみ処理場	唐津市ペットボトルセンター (平成27年度末用途廃止)	鉄骨造	1	812	1999		×
	ごみ処理場	大平山斎苑動物死体処理場 (大平山と一括評価)	鉄筋コンクリート造	1	95	1999		×

※ 耐震区分の○は耐震性有、△は耐震改修計画有、×は耐震性無である。

※ 施設評価が×の施設は、施設カルテ及び施設評価対象外である。

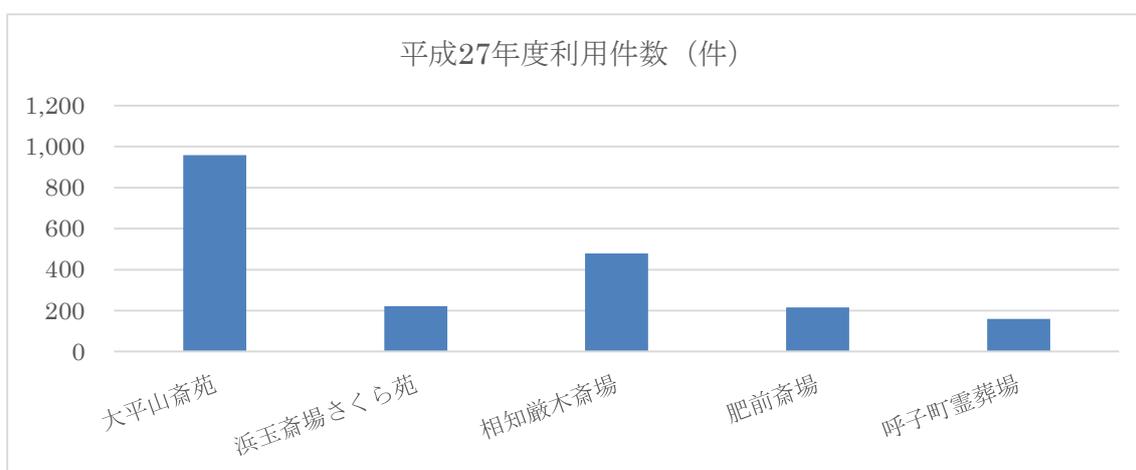


### (3) 施設毎の利用状況及び施設サービス経費の状況

#### ① 火葬場

火葬場の平成27年度の年間利用件数は、次の通りでした。利用件数が最も多かったのは大平山斎苑でした。

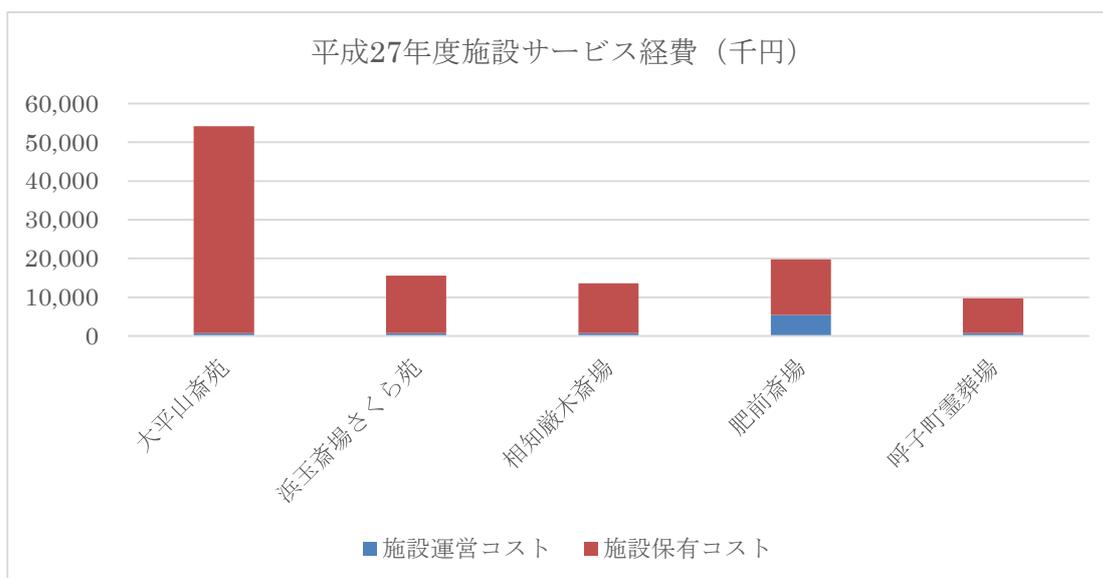
	大平山斎苑	浜玉斎場 さくら苑	相知巖木斎場	肥前斎場	呼子町霊葬場
利用件数	958	222	478	215	159



平成27年度の施設サービス経費は、次の通りでした。施設運営コストが最も高かったのは肥前斎場で、施設保有コストが最も高かったのは大平山斎苑でした。

(千円)

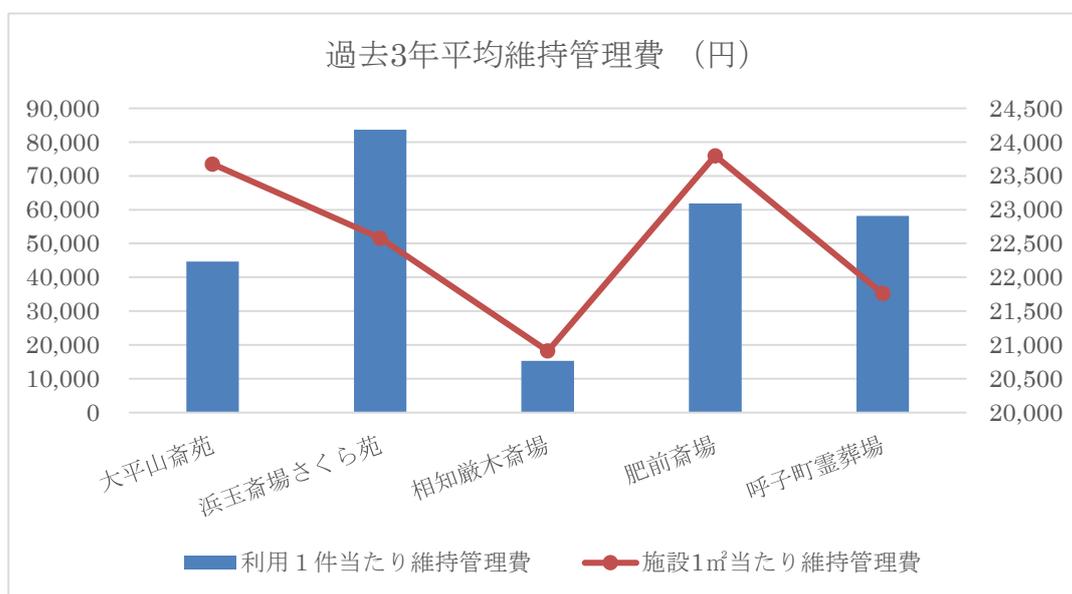
	大平山斎苑	浜玉斎場 さくら苑	相知厳木斎場	肥前斎場	呼子町霊葬場
施設運営コスト	780	780	780	5,460	780
施設保有コスト	53,370	14,803	12,868	14,363	8,936



過去3年平均での施設1㎡当たりの維持管理費は、次の通りでした。1件当たりの維持管理費が最も高いのは浜玉斎場さくら苑で、1㎡当たりの維持管理費はいずれも概ね2万円台の水準となっています。

(円)

	大平山斎苑	浜玉斎場 さくら苑	相知巖木斎場	肥前斎場	呼子町霊葬場
維持管理費 (1件当り)	44,675	83,628	15,357	61,820	58,170
維持管理費 (1㎡当り)	23,673	22,580	20,912	23,797	21,761



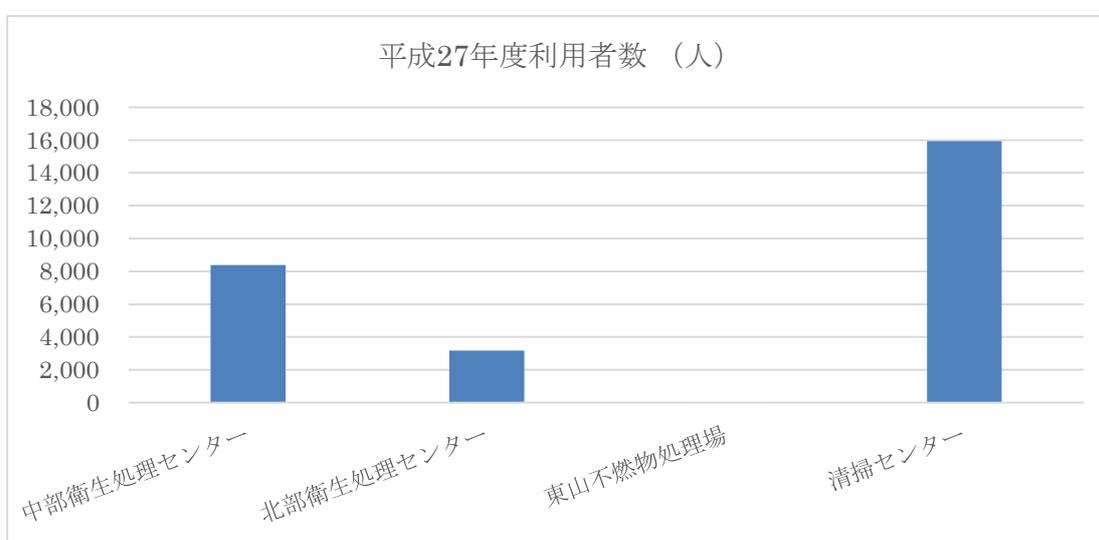
## ② 衛生処理場・ごみ処理場

衛生処理場・ごみ処理場の平成27年度の年間利用者数は、次の通りでした。

衛生処理場は、中部衛生処理センターが全体の2/3以上を占め、ごみ処理場は、清掃センターがほぼ全部を占めています。

(人)

	中部衛生処理センター	北部衛生処理センター	東山不燃物処理場	清掃センター
利用者数	8,389	3,178	29	15,939

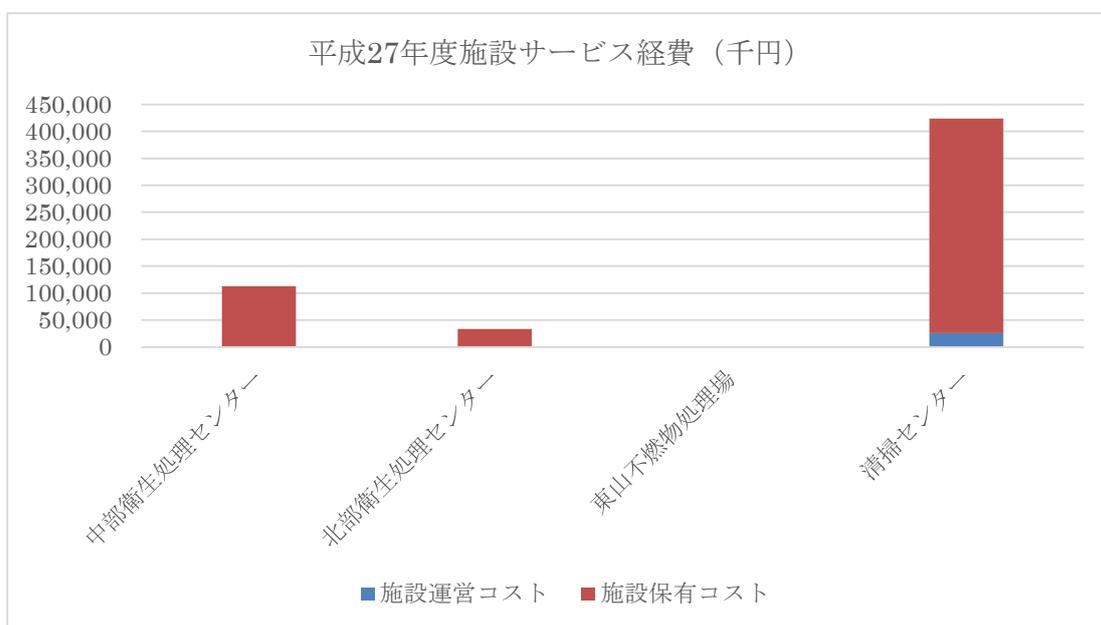


平成27年度の施設サービス経費は、次の通りでした。

衛生処理場・ごみ処理場の各施設の施設サービス経費は、いずれも利用者数とほぼ比例関係にあります。

(千円)

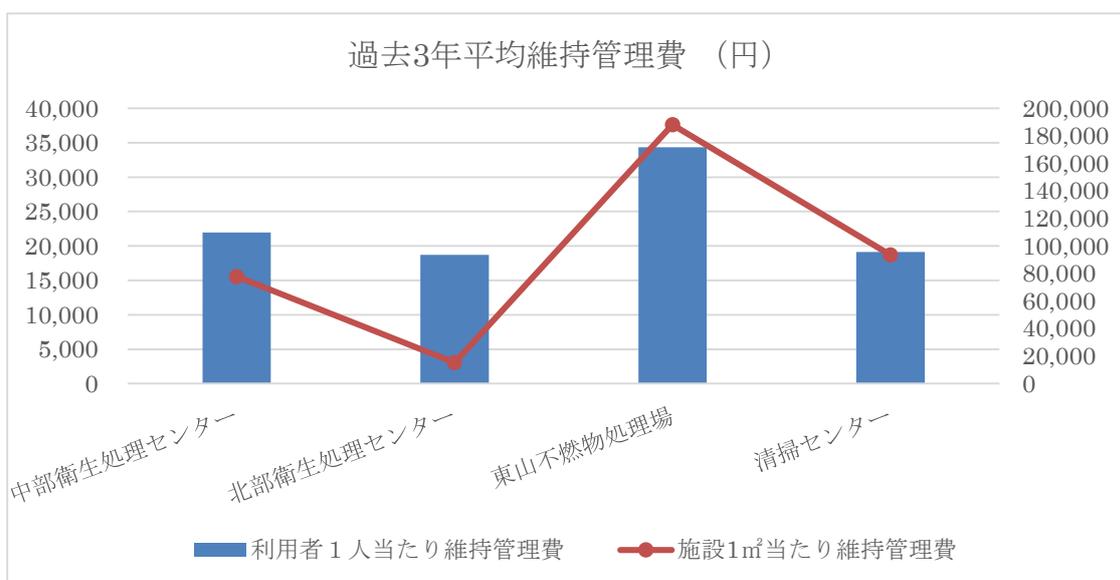
	中部衛生処理センター	北部衛生処理センター	東山不燃物処理場	清掃センター
施設運営コスト	780	780	210	25,544
施設保有コスト	111,928	32,744	1,307	398,075



過去3年平均での利用者一人当たり維持管理費及び、施設1㎡当たりの維持管理費は、次の通りでした。東山不燃物処理場が際立って高くなっています。

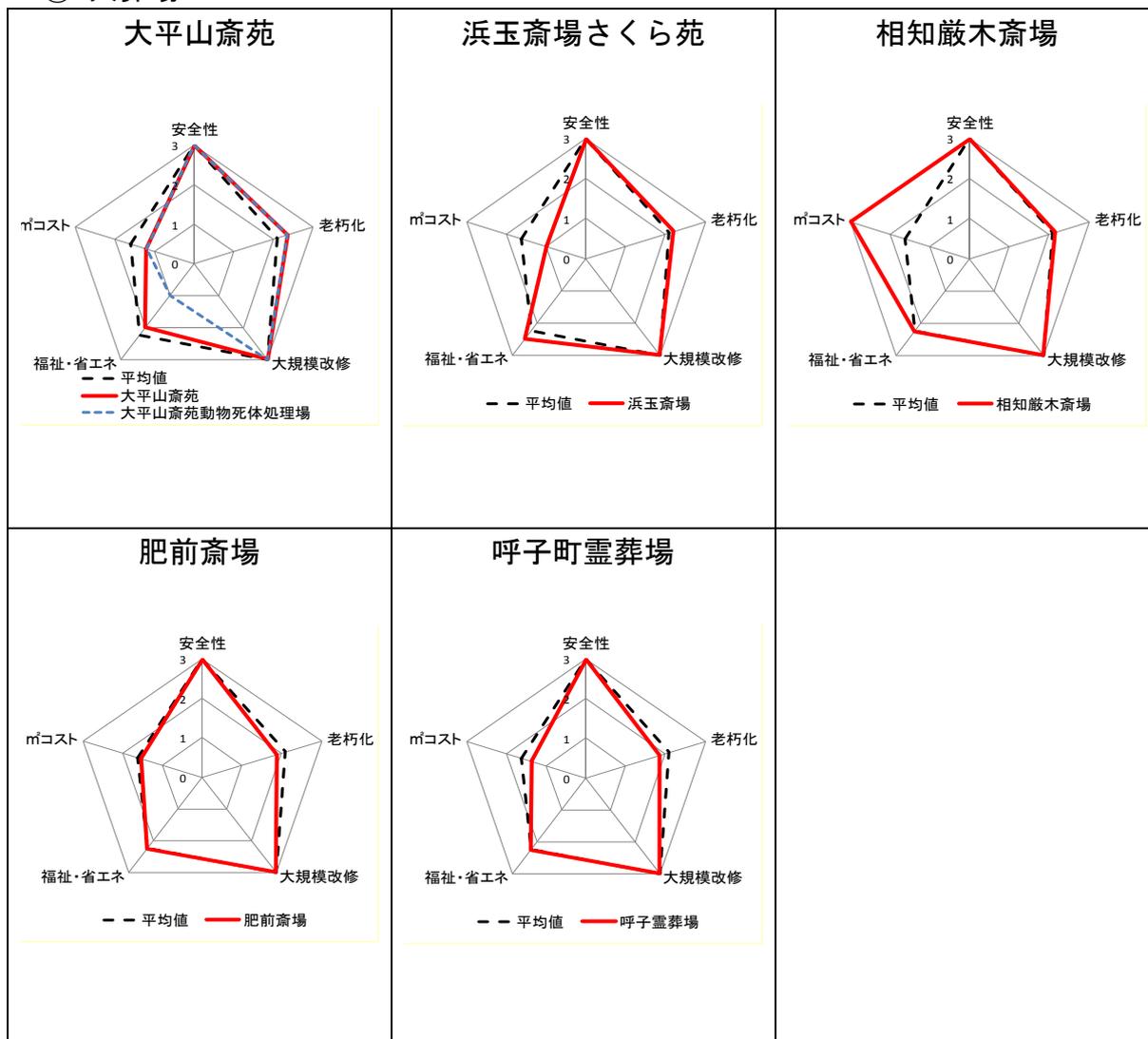
(円)

	中部衛生処理センター	北部衛生処理センター	東山不燃物処理場	清掃センター
維持管理費 (1人当たり)	21,978	18,735	34,361	19,112
維持管理費 (1㎡当たり)	77,802	15,369	188,061	93,448



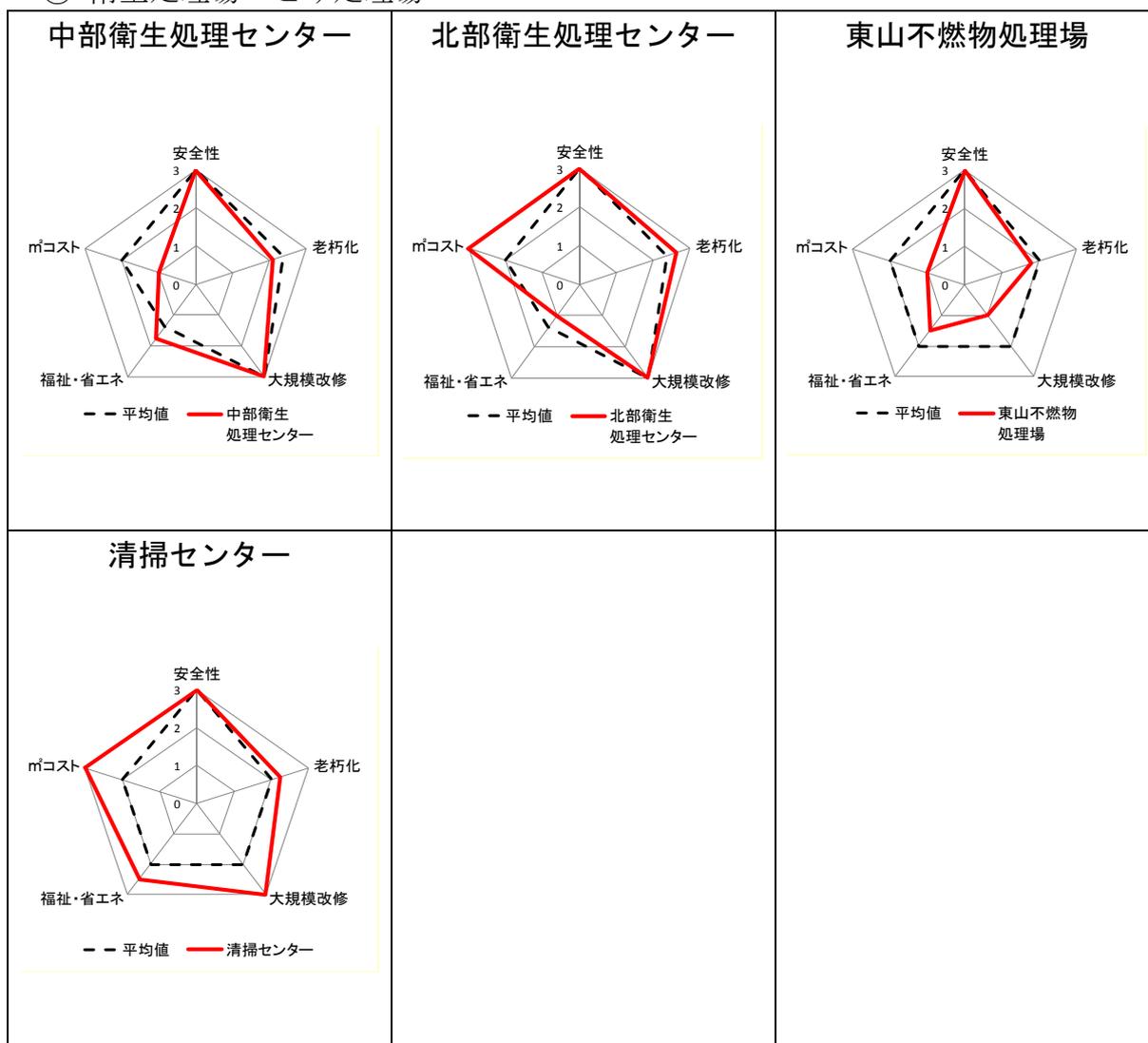
## (4) 評価結果

### ① 火葬場



m<sup>2</sup>コストが最も優れているのは、相知巖木斎場で、次に良かったのは肥前斎場でした。安全性及び大規模改修はすべての施設が優れていました。老朽化及び福祉・省エネの面でも、すべての施設が高い評価でした。

② 衛生処理場・ごみ処理場



m<sup>2</sup>コストが最も優れているのは、衛生処理場では北部衛生処理センター、ごみ処理場では清掃センターでした。安全性はすべての施設が優れていましたが、全体的に低い評価点となったのが東山不燃物処理場でした。